

複合文化施設の整備へ向けて

【複合文化施設整備基本構想の策定】

令和4年10月以降、改めて課題の整理を行い、今年7月に複合文化施設整備基本構想（以下、基本構想）を策定しました。基本構想では、整備にあたっての基本理念や基本方針を定め、建設場所や財源確保などの課題の整理を行いました。

<基本理念>

新たな活力で 輝く未来へ

「文化」「ひと」「地域」の交流拠点

市で整備を進めている新たな複合文化施設について、これまでの取り組みを含め、進捗状況をお伝えします。

<基本方針>

基本理念の下に4つの柱（基本方針）をまとめました

- ・身近な文化・芸術の拠点づくり
- ・あらゆる「ひと」に開かれた空間と交流の拠点づくり
- ・賑わいを生み出す拠点づくり
- ・時代のニーズに柔軟に対応できる空間づくり

※複合文化施設整備基本構想の詳細は市ホームページをご覧ください▶



ホール機能を中核に行政機能等を複合化した施設の検討を進め、整備にあたっては市の財政状況を踏まえて無理のない施設整備を検討していきます。

【これからの予定】

今後、基本構想をもとに令和5年度・令和6年度の2か年で複合文化施設整備基本計画を策定していきます。令和5年度は建設地、施設機能、事業手法について方向性をまとめます。

【複合文化施設整備審議会】

複合文化施設整備に関して広く意見を求めるため、今年5月に学識経験者や各団体、一般市民から構成される審議会を設置し、施設整備にかかる審議を開始しました。審議会は19名の委員で構成され、複合文化施設の整備などについて、調査・審議を行っています。

※審議会議事録については市のホームページで公開しています▶



第6回複合文化施設整備審議会

を開催します

日時：11月20日 午前10時～

場所：本庁舎1階多目的ホール
(メロディアスホール)

傍聴定員：10人（超過時は抽選）

※傍聴の受付は午前9時30分から先着順で行います。

ただし、午前9時30分までに定員が超過した場合は抽選となります。

【高校生ワークショップ】

市内の県立高校3校が参加し「石岡市『らしさ』の複合文化施設を考える」を全体テーマとしたワークショップ（全3回）を開催しました。

ワークショップは、筑波大学による高大連携事業の一環として実施しており、大学生・大学院生と高校生が連携して、新しい複合文化施設の在り方について一緒に考えました。これまでに開催された3回のワークショップでは、石岡の魅力や課題を整理

し、施設で実現したいことなどたくさんのアイデアが出されました。ワークショップで出された意見や提案などについては、今後整備を検討する中で可能な限り取り入れていきます。

▶7月19日に行われたワークショップの様子



今後も進捗状況に応じて、複合文化施設整備事業について市報やホームページを通じて市民の皆さまへお知らせしていきます。岡本駅周辺にぎわい創生課 TEL 23-7745